

<p>タイトル</p>	<p>2021年度 学校推薦型選抜 共同教育学部 教育専攻 小論文問題</p>
<p>評価の ポイント</p>	<p>(小論文)</p> <p>教育をめぐるさまざまな事象に関する総合的な思考力、問題解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育上の施策について、多面的・多角的な見方ができているか。 ・出題で示されたような一過性のトラブルを「いじめ」として認知することのメリットについては、たとえば「教師がいじめを早期発見することにつながる」、「はじめは軽微なトラブルが本格的ないじめへと深刻化する前に、教師が適切に対処することにつながる」、「児童生徒にとって、自分の行為が相手にとって苦痛を与えていないかを振り返り、反省する契機になる」などの点が指摘できているか。 ・出題で示されたような一過性のトラブルを「いじめ」として認知することのデメリットについては、たとえば「調査としては過去と基準が一貫せず、いじめの経時的な変化を精密に分析することが困難になる」、「軽微なトラブルをすべて『いじめ』と呼ぶことにより、教師や児童生徒の感覚が麻痺し、深刻ないじめへの対応が逆におろそかになる危険がある」、「現実の対人関係において苦痛・不快の発生を完全に消滅させることは現実的でなく、児童生徒同士の率直なコミュニケーションを困難にするおそれがある」などの点が指摘できているか。 ・上記のようなメリット、デメリットについて、一方に偏ることなく論述できているか。 ・出題文中の個別事例に過度に限定せず、より広い視野から論述できているか。 <p>小論文回答例</p> <p>まず、メリットについて述べる。本事例のようなトラブルについて、「どの程度つらいのか」は当人にしかわからない。そのため、本事例のような、一見すると些細なトラブルであっても、いじめとして認知することで、重大ないじめやそれに伴う自殺や非行などを未然に防ぐことができる可能性が高まるだろう。また、事例のA君のような子供にとっては、自分では正当なことを行っているつもりだが、相手を必要以上に傷つける可能性があることについて、省みる機会となる可能性がある。本事例をいじめと認知することには、以上のようなメリットがあると考えられる。</p> <p>次に、デメリットについて述べる。本事例をいじめとして認知してしまうことで、子供同士で対人関係トラブルを解決するための力を養う機会を奪う可能性がある。子供に限らず、人間同士が関わる限り、時として人間関係トラブルが発生するのは避けられないであろう。一方、いじめとして認知されると、教師や保護者がトラブルに対して、強く介入せざるを得なくなるだろう。大人が介入することで、子供たちが自分の力で、トラブルに向き合う</p>

場が失われるかもしれない。また、メリットで挙げたことの裏返しにはなるが、本事例のようなことがいじめとして認知されると、「いじめになるかもしれない」と子供が恐れ、コミュニケーションが円滑に進まなくなることも考えられる。本事例をいじめと認知することには、以上のようなデメリットもある。

私は、本事例を「いじめ」と認知することは、デメリットが大きいと考える。もちろん、いじめを見過ごしたり、隠したりすることは許されない。一方、子供同士のトラブルについて、大人がすべて先回りして解決するようになれば、学校を卒業したあとに大きなトラブルにつながるかもしれない。例えば、本事例のような場合は、「いじめにつながる可能性のある事例」などとして、別の対応をするようにしてはどうかと考える。(793字)